

これまでの議論の整理

1 国有林の管理経営のあり方

主な意見	議論の整理
・ 国有林は公益的機能の増進を最重要視すべき ・ 国有林は林野庁（国）が責任を持って一体的に管理すべき ・ 国有林は一般会計で事業実施、管理していくことが必要	○ 国有林は林野庁が責任を持って一体的に管理経営し、公益重視の管理経営をより一層推進 ○ 国有林野の公益的機能の一層の発揮、森林・林業再生の観点から一般会計で事業実施・管理していくことが必要

2 公益重視の管理経営のより一層の推進

主な意見	議論の整理
(1) 国有林の森林計画・森林整備のあり方 ・ PDCAサイクルを採用し、評価システムを確立すべき ・ PIの導入等により、地域住民の声・意見をより一層反映すべき ・ 国と県が素案の段階から連絡・調整を図り、民・国の森林計画がより一層調和してたてられるよう調整して欲しい ・ ゾーニングを行うのであれば、国民にとって分かりやすい説明ができる簡便なものとすべき ・ ゾーニングを簡便にしすぎると、森林の機能は重複しているので誤解を生じる恐れがある。またゾーニングによる森林の画一化を避けるべき ・ 木材生産が可能な森林においても、生物多様性など他の機能をできる限り損なわない配慮をすべき	○ 国民から幅広い意見を聴取し計画に反映するため、案の段階から意見を求めるいわゆるPIを導入することについて検討 ○ 計画策定時にこれまでの実施結果を評価するシステムを導入することを検討 ○ 民有林と国有林が計画の案の段階から調整を行いより一層の連携を推進 ○ 森林計画における適切かつわかりやすいゾーニングの実施
(2) 治山事業の推進 ・ 民有林直轄治山事業を継続して欲しい ・ 民・国連携した治山対策を推進して欲しい	○ 民有林・国有林を通じた災害復旧への迅速な対応のための森林管理局の機能強化、効果的な治山対策等を推進

主な意見	議論の整理
(3) 生物多様性の保全方策・野生鳥獣被害対策の推進 ・赤谷の森の全国展開と、拡大しすぎた造林地の天然林化を進めるべき ・森林共同施業団地の手法を用いた生物多様性確保のための共同管理団地の設定を検討すべき ・民・国を通じた緑の回廊の設定等を推進すべき ・民有林と連携しつつ、森林の機能発揮に関してのモニタリングを充実すべき ・溪畔林等においては、路網を整備する場合、公益的機能との調整に配慮した基準の作成を検討すべき ・民有林と一体となった野生鳥獣被害対策への取組を推進して欲しい	○協定等を活用した民・国連携した生物多様性確保のための新たな仕組みの検討 ○民有林・国有林を通じた緑の回廊の設定及び管理受託等を含めた一体的管理を推進 ○モニタリング調査等の手法による森林資源管理の高度化の推進 ○より一層環境等に配慮するための溪畔林等における施業上の留意事項の明確化 ○民・国連携した野生鳥獣被害対策の推進
(4) 国民への積極的な情報提供 ・より一層の民・国連携を図りつつ、森林・林業への理解を得るために積極的な広報・情報提供を要望	○国民への積極的な情報提供により森林・林業への理解を得るとともに、国民に身近な情報（新緑、紅葉、冠雪など）、クマの出没予測につながるブナの結実情報等を積極的に提供

3 森林・林業再生への貢献

主な意見	議論の整理
(1) 林業事業体の育成 ・地域の林業事業体の育成に資するものとする観点から、競争性・透明性の確保に留意しつつ、地域への貢献など、価格以外の評価を加味して選定できるように検討すべき ・安定的発注、素材生産の生産性の向上の為の研修会の開催、業務を通じた技術の向上などの分野で国有林が貢献すべき ・国有林の発注は林業事業体から見て安定的で計画が立てやすいため、林業事業体の育成に大いに役だっている	○地域の森林・林業再生を担う林業事業体を育成する観点から、事業の発注方法を工夫 ○新技術の試行・定着など政策課題への取組を条件とした事業発注の検討 ○低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及

主な意見	議論の整理
(2) 木材の安定供給、供給調整 ・木材市況に急激な変動がある場合の、国有林の供給調整機能を期待 ・システム販売を活用した国有林材の安定供給は重要 ・供給調整機能の発揮と、決まっていることを淡々に行う一般会計との整合が課題 ・市場関係者等との情報交換をより緊密にして欲しい	○国産材安定供給の中核として、国有林材の安定供給システムによる販売（システム販売）等による木材の安定供給の推進、新規需要の開拓 ○材価の急激な変動時の供給調整の実施などセーフティネット機能の発揮
(3) 国有林の組織・フィールド・技術力を活かした技術開発・人材育成の推進 ・森林づくりや木材に関する技術・知見を市町村や民有林関係者に普及して欲しい ・国有林は、新たな技術の開発・普及や、森林・林業技術者・技能者育成のためのフィールド提供などに率先して取り組んで欲しい ・民有林では、販売手法についての知見が乏しいことから、国有林からの情報提供や助言を頂きたい	○国有林の組織・フィールド・技術力を活かした森林・林業に関する人材の育成の推進 ○国産材の安定供給等に向けた業務の見直し、林業の低コスト化に向けた技術開発及びその情報等の発信を推進
(4) 森林共同施業団地の設定の推進等 ・民有林に隣接する国有林は、是非民有林と一体的な団地を構成し、競争力のある木材の搬出体制の構築に一役買って欲しい ・流域管理システムの下で民・国が強力的に連携することにより、森林施業の共同化や国産材の安定供給、林業労働者や事業体の育成・確保などに積極的に取り組むことが必要	○民有林の施業集約化にも資する森林共同施業団地の設定を推進

4 大規模災害等への対応

主な意見	議論の整理
・震災発生直後に局で即座にへりを飛ばしてくれたのは有り難かった引き続き、民・国連携した治山対策を要望 ・災害発生時の木材等必要な物資の供給可能量の把握と情報提供、緊急出材等への対応など、木材供給のセーフティネット機能を発揮すべき ・復興に向け、雇用を確保するため、被災者を含めた零細な素材生産業への安定的発注に期待	○大規模災害発生時及び復興時における国有林野の提供や復興用資材の提供、復興時の地元・被災者の雇用確保などの人的・物的貢献

5 地域の振興等

主な意見	議論の整理
・国有林はこれまで築き上げた地域の方々との信頼関係を存続していくべき ・国有林との繋がりなしに地域はあり得ない。お互いのパートナーシップが必要 ・国有林は、地域資源として、地域経済の活性化に重要な役割を担って欲しい ・満期を迎えた官行造林地について、多大な財政負担を伴うことなく造林地を残していける方策を検討して欲しい	○国有林の土地・森林・木材・事業の活用はもとより、組織・職員が山村にすることを活かした山村振興への貢献

6 組織・要員、求められる人物像等

主な意見	議論の整理
・ 国有林は、専門性・技術・地域の森林情報に長けたスペシャリストと、異分野間の調整等を行い、総合的に判断できるゼネラリストの双方を育成すべき ・ 特にスペシャリストを育成し、評価するシステムが手薄ではないか ・ 職員は2～3年で異動してしまう。できるだけ在任期間を延ばすべき ・ 人の前で自分たちの活動を解説する職員を評価する基準などを作っていくことが必要。また、赤谷のようなプロジェクトを全局に作っていくことは、直接国民と力を合わせられる職員を育成していくためにも重要 ・ 生物資源である森林を現場近くで日々巡視管理する必要から、人員の確保と安定的配置、技術を伴った人材の育成が喫緊の課題 ・ 国有林の現場職員が果たしてきた山守としての機能の確保方策について検討することが必要 ・ 山村の活性化を図るためにも国の出先機関をこれ以上減らすことなく、山村の振興に大きく寄与できる国有林とすべき	○ 国有林に期待される役割を果たすために、現場に立脚した技術者の系統的な育成と、これを適正に評価する人事任用体系を構築 ○ 組織・要員については、国有林の適切な管理経営はもとより、地域の森林・林業の積極的支援等国有林に求められる新たな業務を踏まえ、これらを適正に実施していく上で必要かつ合理的なものとする ○ その際、現場管理業務を充実することとし、山守機能の確保等地域の期待に応えられるよう検討 ○ 現場の管理にあたっては、地域において森林に詳しい者の知見を有効に活用する方策も検討